

## 第1号議案 備後圏都市計画道路の変更に関する意見書の要旨

意見書数 3通 12名

意見書の要旨	件数	人数
<b>1 計画に関する意見</b>		
<b>(1) 計画全般に関する意見</b>		
次の理由から、当初の計画通り、堀割構造での建設を要望する。	1	12
①トンネル施工にすると、道路を利用した付近の開発が出来なくなる。	1	12
②トンネル施工にすると、井戸水を利用している方がいるので、水脈の変化が心配である。	1	12
③堀割構造では、豪雨時に斜面の土砂崩れによる災害が発生しているとのことだが、豪雨対策として斜面の補強を検討すべきではないか。また、トンネルであっても、老朽化による天井板崩落などの懸念がある。	1	2
④トンネルの出入口は比較的交通事故が起きやすく、トンネル内外の明るさの違いで運転が危険になる。	1	2
⑤歩道を歩くとき、トンネルは暗く人目につかないため、犯罪が起きたニュースも聞くこともある。	1	2
<b>2 合意形成に関する意見</b>		
<b>(1) 住民への説明に関する意見</b>		
トンネルに反対する地元地権者の理解を得ないまま、説明会を開催し、行政の思うがままに計画を進行しようとしている。	1	2

## 第1号議案 備後圏都市計画道路の変更に関する意見書の要旨

意見書数 3通 12名

意見書の要旨	件数	人数
<b>1 計画に関する意見</b>		
<b>(1) 計画全般に関する意見</b>		
次の理由から、当初の計画通り、堀割構造での建設を要望する。	1	12
①トンネル施工にすると、道路を利用した付近の開発が出来なくなる。	1	12
②トンネル施工にすると、井戸水を利用している方がいるので、水脈の変化が心配である。	1	12
③堀割構造では、豪雨時に斜面の土砂崩れによる災害が発生しているとのことだが、豪雨対策として斜面の補強を検討すべきではないか。また、トンネルであっても、老朽化による天井板崩落などの懸念がある。	1	2
④トンネルの出入口は比較的交通事故が起きやすく、トンネル内外の明るさの違いで運転が危険になる。	1	2
⑤歩道を歩くとき、トンネルは暗く人目につかないため、犯罪が起きたニュースも聞くこともある。	1	2
<b>2 合意形成に関する意見</b>		
<b>(1) 住民への説明に関する意見</b>		
トンネルに反対する地元地権者の理解を得ないまま、説明会を開催し、行政の思うがままに計画を進行しようとしている。	1	2

## 第1号議案 備後圏都市計画道路の変更に関する意見書に対する県の考え方

意見書に対する県の考え方
<b>1 計画に関する意見</b>
<b>(1) 計画全般に関する意見</b>
本計画の当初計画では、門田町の山地部において、直高最大約48mの長大法面となる堀割構造となっていますが、近年頻発する豪雨等により大規模災害が頻発していることから、災害時の安全性向上、及び、建設発生土の抑制など、施工時の環境面への配慮から、堀割構造からトンネル構造に変更するものです。
①当初の堀割構造案では、直高最大約48mの長大法面となるため、取付道路を新設することは極めて困難であり、道路を利用した付近の開発（沿道利用）は難しいと考えます。
②トンネル掘削に伴い、地下水の流れや水位が変わる可能性はありますが、大規模な地形改変を伴わないため、堀割構造案と比較し、影響は少ないと考えられます。事業実施にあたっては、着手前にトンネル付近の井戸調査を行い、工事中においても調査を実施し、工事による影響が認められる場合には、適切な対応を行う必要があると考えております。
③堀割構造案の長大法面の施工については、技術的には可能ですが、近年頻発する豪雨等により道路法面災害が発生していること、また、設計基準となる「道路土工 構造物技術基準・同解説」において、大規模法面を避け、トンネルや橋梁を検討することになっており、安全性の高い道路構造が求められる中、トンネル構造への変更は適切であると考えております。 また、老朽化などの懸念については、トンネル点検や補修工事等を実施し、適切な維持管理を行うことにより、安全性の確保に努める必要があると考えております。
④トンネル照明の設計基準「道路照明施設設置基準・同解説」に基づき、トンネル内の照度を適切に確保し、自動車の通行安全性の確保に努める必要があると考えております。
⑤トンネル照明の設計基準「道路照明施設設置基準・同解説」に基づき、トンネル内の照度を適切に確保し、歩行者・自転車の通行や防犯上の安全性の確保に努める必要があると考えております。
<b>2 合意形成に関する意見</b>
<b>(1) 住民への説明に関する意見</b>
本計画については、計画区域及び周辺地域の関係権利者及び町内会に対して、説明会や個別説明を行い、計画の変更内容や必要性について説明を重ね、計画に対する理解と協力が得られるよう努めてきたところです。 今後も、地元住民をはじめとする関係者に対し、誠意を持って十分な説明や協議を行い、理解と協力を得てまいります。